



枝垂れ柳

寒河江市立寒河江小学校

校長 佐竹 康弘

令和7年12月23日

学校教育目標 【ともに学び ともに輝き ともに高まる やなぎ学園】

11月12日(水)、公開研究発表会を開催！

今年度、本校では学校教育目標を達成するために、「探究することを楽しむ子ども」が育つ学校（やなぎ学園）づくりを最重点に位置付けています。

これは、令和6・7年度寒河江市教育委員会委嘱・寒河江市教育研究所協力校であるということをチャンスととらえ、子どもたちにとっても私たちにとっても学校でのくらしの大部分を占める授業の改善にチャレンジしています。

「探究することを楽しむ子ども」とは、予測困難な時代を生き抜くための変化に対応できる力をつけ、それらを発揮しながら試行錯誤することを楽しむ子どもの姿です。

この姿を目指すために付けたい力として「他者と協働する力（みんなと）」を昨年度から重点にし、授業づくりとして、特に「課題の工夫」と「協働的な学びの充実」に取り組んでいます。

□課題の工夫

学習や生活の中で、自ら気づいたことや多様な問い合わせ大切にして学習課題を設定する場を工夫する。探究心をくすぐり、交流がさかんになるような課題を考えて提示していく。

□協働的な学びの充実

ねらいに迫る学び合いにするために、聴き合う関係性作りを大切にする。その上で、互いの考えを吟味したり、友達の考えを取り入れたりしながら、自分の考えを見つめ直す。

当日は、市教育委員会佐藤教育長はじめ教育委員や教育委員会の方々、学校運営協議会委員の方、幼稚園・保育園・子ども園の先生方、そして主に陵東学区の小中学校の先生方から授業で学ぶ子どもたちの姿を見ていただきました。

公開した授業では、子どもたちは、「みんなと」探究することで、進んで課題に向かい、表現しようとする姿がたくさん見られました。また友達と話し合ったり、友達のつぶやきも聞き取ったりしながら学びを深めていきました。

なお、公開授業は7学級で行いました（裏面参照）が、その他の学級は自習としました。これは、子どもたちが自分で・自分たちで学びを進めるような「主体的に学ぶ」ということを大切にていきたいと願っているからです。

25日（木）からは子どもたちが楽しみにしている年末年始休業に入ります。13日間の休みになりますが、冬休みならではのチャレンジ（例えば、書き初め練習や雪遊び、家庭でのお手伝いなど）はいかがでしょうか。

なお、明日の全校朝会では、「くらし支援部」の担当から、冬休みの安全なくらし方などについて子どもたちに話をします。雪道にもなるかもしれませんので交通安全はもちろんのことですが、お金の使い方や危険な場所での遊びや火遊び、またゲームやインターネットの約束など、ご家庭でも確認や見守りなど、どうぞよろしくお願ひします。

そして、令和8年1月7日（水）には、さらに成長した「笑顔あふれるやなぎっ子」（今年度の児童会スローガンより）との再会を楽しみにしています。